

第23回通常総代会への提案

協同活動の成果と計画

■令和3年度事業報告

と き 令和4年5月27日 午前10時00分

■令和4年度事業計画

と ころ 栃木市栃木文化会館大ホール

〈ネット掲載版〉



総代会次第

1 開 会

出席の状況	本人	名
	代理人	名
	書面	名
	合計	名

2 組合長あいさつ

3 議長選任

氏 名	

4 書記の任命

氏 名	

5 議案の審議

6 閉 会

J A 綱 領

—わたしたち J A のめざすもの—

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

総代会提出議案

第1号議案

【報告事項】

令和3年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

別記のとおりご報告いたします。

【決議事項】

令和3年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

別記のとおりご承認願います。

第2号議案

定款の一部変更について

別記のとおりご承認願います。

第3号議案

持続可能な農業・地域共生の未来づくり3か年計画の設定について

別記のとおりご承認願います。

第4号議案

令和4年度事業計画の設定について

別記のとおりご承認願います。

第5号議案

役員補欠選任について

別記のとおりご承認願います。

第6号議案

令和4年度理事及び監事の報酬について

別記のとおりご承認願います。

〔報告事項〕「JAバンク基本方針」の変更について

〔特別決議〕「第32回JA栃木県大会決議の実践に関する特別決議」について

以上のとおり提出いたします。

令和4年5月27日

下野農業協同組合

代表理事組合長 長野 昌 光
代表理事専務 野 口 浩 志
常務理事 柴 田 久 雄
常務理事 高 久 春 男

己治男 雄夫 寛之 子 通武
正美一 貞治 敬和 眞利
川倉柴 堀田 井山 塚部 水柳
刀柏三 小中 管増 大綾 清片
事 事 事 事 事 事 事 事 事 事
理 理 理 理 理 理 理 理 理 理
保男彦 博博 男雄 夫浩 雄誠 子
昭勝 正一 哲崇 久女 京
原平長 名橋 山内 田内 場乙 田
野藤賀 椎大 佐寺 島寺 馬早 金
事 事 事 事 事 事 事 事 事 事
理 理 理 理 理 理 理 理 理 理

目 次

第1号議案

【報告事項】 令和3年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

【決議事項】 令和3年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

I 事業報告

1. 組合の事業活動の概況に関する事項 6
2. 組合の運営組織の状況に関する事項24

II 事業報告の附属明細書33

III 貸借対照表35

IV 損益計算書36

V 注記表38

VI 貸借対照表等の附属明細書51

VII 令和3年度剰余金処分案58

○ 監査報告書59

(参考1)部門別損益計算書63

(参考2)子会社等の財産及び損益の状況65

第2号議案

定款の一部変更について69

第3号議案

持続可能な農業・地域共生の未来づくり3か年計画の設定について70

第4号議案

令和4年度事業計画の設定について78

I 基本方針78

II 事業方針及び事業実施計画79

III 経営管理方針93

IV 部門別損益計算書(計画)97

V JAしもつけ自己改革工程表99

第5号議案

役員補欠選任について101

第6号議案

令和4年度理事及び監事の報酬について102

定款第40条第2号に基づく報告事項

「JAバンク基本方針」の変更について103

特別決議

「第32回JA栃木県大会決議の実践に関する特別決議」.....104

(注) 本冊における表中の数値は単位未満切り捨てのため、合計に相違があります。

組 合 長 あ い さ つ



本日ここに第23回通常総代会を開催するにあたり、日頃皆様から寄せられておりますご指導とご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度を振り返りますと、一昨年からの新型コロナウイルスの影響が長引き、苦しい状況下での事業展開となりました。日本国内においてもワクチン接種が進んでいますが、いまだ収束の兆しを見せておりません。

農業においてはコロナ禍での外食産業低迷により、特に米について大幅な需給緩和を招きました。3年産主食用米生産については、JAグループを挙げて作付転換に取り組んだものの、消費低迷は依然として改善せず、米価は大幅に下落しました。4年産主食用米の適正生産量についても、農水省は3年産米よりさらに少ない675万トンとしており、3年産と比較して21万トンの削減が求められています。JAグループ栃木としては、主食用米の作付面積を3年産米よりもさらに6千ヘクタール削減する目標を設定し、当JAにおいても強力に作付転換を推進しています。

また、一昨年に公表された農林業センサスに基づく本県の生産基盤のシミュレーション結果では、2030年の基幹的農業従事者数は2020年と比較して40%もの減少が見込まれることから、産地を維持していくための担い手確保は喫緊の課題となっています。

こうした情勢を踏まえ、昨年11月に開催した第32回JA栃木県大会では、5つの重点取組事項として、『持続可能な食料・農業基盤の確立』『持続可能な地域・組織・事業基盤の確立』『不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化』『協同組合としての人づくり』『「食」「農」「地域」「JA」にかかる国民理解の醸成』を決議しました。当JAでは、これらの実践と実現に向け、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり3か年計画」を策定しました。

また、今回の総代会より、単年度事業計画と合わせて、農業者の所得増大につながる取組目標を設定した「自己改革工程表」を作成しており、不断の自己改革に取り組んでいく決意を新たにいたしました。

農業環境は厳しさを増していますが、産地の農業生産を維持・拡大させるため、新規生産者の確保対策や既存生産者の規模拡大対策等を積極的に実施していきます。なお、総合事業を営む農業協同組合として組合員・地域のために継続して機能発揮できるよう、持続可能な経営基盤確立・強化の取り組みは極めて重要となっており、経済事業を中心とした収支改善に引き続き取り組んでまいります。

4年度は、3か年計画の初年度となりますが、組合員・地域の皆様との対話を進め、自己改革の達成に向けて役職員一体となって全力を挙げて取り組む所存です。今後とも、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

令和4年5月27日

下野農業協同組合
代表理事組合長 長 昌光